

11月24日(木) 雪

真冬並みの寒気が流れ込み、朝目覚めると東京も初雪となる。東京は1962年以来、54年ぶりの早い初雪とのこと。思いのほか降り続いたが、向かいの家の屋根が薄っすらと白くなるも家の周辺は積もらず雪かきはいらない。

しかし山は雪が積もっていることだろうと思い、土曜の天気予報を確認し毎度のことながら地図を広げて行きたい山を探す。今回は奥多摩の南側に位置する三頭山に行こうと計画する。近くの温泉施設「数馬の湯」のホームページを見ると、25日までは雪の影響で営業時間を変更しているようだが、26日土曜から通常の営業時間に戻るとのこと。バスも問題なく走っているようだ。

三頭山に登るコースはいくつかあるが、今回は比較的距離の短い都民の森から入山する朝もゆっくり出発できるコースに決める。

11/26(土) 天気晴れ

ザックにエキスパートオブジャパンの軽アイゼン(クロモリ6P)を詰め込み出発。武蔵小金井駅8時発の電車に乗る予定が、一本前の電車に間に合う。次の国分寺駅でホリデー快速武蔵五日市駅行きに乗り換えようと下車。電子掲示板をみるとホリデー快速という文字がなく、おかしい…と悩んでいると「本日、ホリデー快速あきがわ3号武蔵五日市行きは立川駅からの出発に変更となりました」と放送が流れ、急いでもとの電車に乗り込む。一本乗り遅れると山の行程にけっこう影響があるので、登山口となる駅のバス停に到着するまでにかなり気を張る。

立川駅ホームでホリデー快速を待つ登山者の列に自分も並び、このホリデー快速は拝島駅で、前4両が武蔵五日市駅に、後ろ6両が奥多摩駅行きに分かれる。それを知らず、後ろ6両の列に並んでいたため急いで前車両へ移動。何回も前車両、後ろ車両を間違えないようにとアナウンスしているが、ホームには前に後ろに右往左往している人が数多くいる。

8時48分 武蔵五日市駅到着

改札を出て正面にロータリー左側に数馬行きのバス停があり、既に多くの方(ほぼ登山者)が並んでいる。終点の数馬からは無料送迎バスで都民の森まで行く。一台では乗車できない程の長蛇の列に、バスの増便が伝えられる。ありがたい。

9時発 数馬行きのバスに乗車

終点まで約55分(運賃940円)の道のり。人里からだんだん山の景色に変わる。木々に積もった雪の白さと、紅葉のコントラストが美しい。ほとんどの方が三頭山に登られるのかと勝手に思いこんでいたが、終点数馬には自分を含め2人のみ。数馬のバス停に到着すると、既に都民の森行きの無料送迎バスが待機している。急がなくても座れる人数。後方の臨時便バスからも4人ぐらい乗車して都民の森に向けて出発。結構な標高までバスで上がってくれる。

10時15分 都民の森着

駐車場にはライダー、車の他にロードバイクの姿もあるが、週末としたら観光客は少ないのかもしれない。

トイレを済ませ、靴ひもを締めなおす。



(森林館へ向かう道)

## <ポイント1>

檜原都民の森は標高 1,000 メートルから 1,500 メートルの高地で自然を身近に感じ、楽しむ事ができる山岳公園である。

ブナが残っており貴重な財産であるとともに学術的にも貴重な自然林で、高齢者や車いすを利用されている方でも気楽に利用できる施設。

森林館、木材工芸センター、里山休憩小屋、炭焼き小屋、野鳥観察小屋などの施設があり、観察、体験、製作など、自然を楽しめる催し物、企画がされている。また、テーマに分かれたいくつかのハイキングコースもある。詳細は檜原都民の森ホームページ、下記参照。

<http://www.hinohara-mori.jp/>

## 10時20分 出発

登山口にクマ目撃情報ありの看板が設置されている。当然のごとくゼロベル(エキスパートオブジャパン製)をザックに装着。天気は晴れのち曇りの予報であったが、登り始めて早々に曇ってくる。

都民の森から三頭山に登るコースは複数あるが、今回は森林館という施設を通り鞆口峠を経て、三頭山に登るコースを計画する。森林館を通り過ぎ、2、3分も進むとアスファルトの道から山道へ入る。ここにも熊目撃情報の看板がある。ここから先日降った雪が現れる。凍っていないので、軽アイゼンがなくとも歩けるが、下りの時は付けたほうが無難である。



(アスファルトの道から登山道へ)



(小さい建物の手前)

鞆口峠へ向かう途中、小さい建物があつたがこの積雪量は10cmを越えると思われ、雪の量に嬉しくなる。

その後鞆口峠のほうから、ムートンブーツを履いた年配の方が下山してくる。ところどころ滑りそうになりながら木を杖に上手に下山してくる。「ここから上は軽アイゼンがないときついよ。あなた持ってる?大丈夫?」と心配してくださる。「お互いに気を付けましょう〜」とご挨拶し別れる。

## 10時50分 標高 1,142m 鞆口峠着

鞆口峠は奥多摩湖に降りるコース、倉掛山・月夜見山へ行くコース、三頭山コースとの分岐点となる。

三頭山へのコースは雪の状態からみて、登りは軽アイゼンを装着しなくても歩けそうではあるが山頂までずっと雪道であるということ、凍った場所も出てくる可能性も考えられ、ここでクロモリ 6P を装着する。その間、二人の登山者が下ってきた。

こちらのコースを登りに使う人は少ないのか? 同じバスに乗っていた方も登ってくる気配がない。



(鞆口峠)

軽アイゼンを装着し先へ進むと少し急な登り道となる。散策路でもあるので道標がこまめに設置されている。雪山になっているが、かなり整備された道なのであろう。途中巻き道と、ブナの路を経由するコースとの分岐点が見れる。折角なので雪景色のブナを堪能しながら歩こう決める。



(見晴し小屋)

11時 12分 標高 1,397m 見晴しの小屋到着  
テラスがあり、木の長椅子も設置された晴れていれば気持ちのよい休憩所なのだろう。木々に囲まれているので、夏より落葉する季節の方が視界は開けるようだ。今回は真っ白で何も見えない。見晴らしの小屋を過ぎると一度下り、なだらかな道をしばらく歩くと別の見晴台が見れる。ここも景色は見えないと知りながらも足を運んでみる。晴れていたら御前山、大岳山方面が一望できるいい休憩ポイント。見晴らし台から10分ぐらい上ると三頭山の山頂(東峰、中央峰、西峰)に到着する。

11時 50分 標高 1527.5m 東峰着

11時 52分 標高 1531m 中央峰着  
ここから一度下って登りつめると三つ目の山頂に到着。

12時 00分 標高 1524.5m 西峰着  
登っている時はほとんど登山者に遭遇しなかったが、山頂に10人ぐらいの登山者がいた事に少々驚く。  
<ポイント2>



(西峰山頂)

3つの頂上があるので三頭山と言う。西峰・中央峰・東峰があり、三角点は東峰に置かれている。奥高尾縦走路、笹尾根の北端。奥多摩三山の最高峰。また多摩川最大の支流、秋川の源頭の山でもある。約800万年前に地下から溶岩が突き上げ、およそ8合目までが石英閃緑岩でしめられている。この閃緑岩を数馬御影石と称している[1]。  
三頭山周辺は、檜原村都民の森水源林として保護されており、山頂周辺にはブナ林が残っている。山頂は眺望に恵まれ富士山や雲取山、奥秩父山塊、丹沢山地などを望むことができる(ウィキペディア参照)

今回はバーナーを持参し温かいものを食べようとカップうどんを用意する。お湯を注いで待つこと5分。なんと！まだうどんが固い。そうとなれば、カップの中身をすべて鍋に移し再び沸騰させる。次回、寒い時期に麺を食べるときはカップ麺はやめて袋麺にしよう。

隣のベンチでご飯を食べていたご夫婦にお菓子をいただく。4~5本爪の軽アイゼンを装着していたのでこの時期の低山もあちこち登られているのかと思ったが、山をはじめてまだ間もないとか。軽アイゼンは、都民の森の施設からのレンタルで、靴も貸出ししているとのこと。

40分ぐらい休憩し山頂を後にする。下山は大沢山、楨寄山西原峠を経由して「数馬の湯」方面に降りるコース。

12時 40分 三頭山出発

山頂から下り10分ぐらい急な階段となる。下り終わると、都民の森へ向かうコースとの分岐となり、先ほどのご夫婦とお別れして、しばらく登りになり避難小屋を通過する。

12時55分 標高1,482m大沢山到着

再び登山者がいない静かな山道となる。途中で朝、武蔵五日市駅で見かけた3人の男性パーティーとすれ違う。数馬の方から登ってきたとのこと。大きなリュックなので、避難小屋で宿泊する予定であろうか。羨ましく思いながらご挨拶。「先にカップルが数馬方面に下山していたけど、女性の方が歩くのが苦手そうだったから、すぐ追いつくと思うよ」とのこと。ゆるいアップダウンをくり返し雪道を一人静かに気持ち良く歩く。天気もだんだんと回復しているのか太陽が顔を出す。上野原町郷原方面に下山する分岐を通過し、しばらくすると槇寄山に着く。

13時45分 標高1,188.2m槇寄山着

西南の方が開けた山頂で、遠くに山々を見ることが出来る。

西原峠を過ぎると、約60分下り檜原街道にでる。ここからはずっと下りである。しばらく行くと人の声が聞こえてくる。先ほど聞いたカップルのようだ。ご挨拶して通り過ぎる。

途中、大平部落九頭竜神社との分岐点を通過。このあたりから雪が少ない道もだいぶ増えて、凍った箇所はなさそうなので軽アイゼンを外す。



(上野原町郷原分岐手前)

14時30分 温泉センター(数馬の湯)バス停着

バスの時間まで一時間以上あったら温泉に入って帰ろうと考えていたがバスが14時53分に来る。その後は16時08分。悩んだ末、一度は数馬の湯まで足を運ぶが、混雑の様子で今回は入浴せず帰ることに。温泉セットはまた次の登山までしまっておこう。

14時53分 出発

臨時バスが出ていたため、武蔵五日市駅まで座れた。バスの心地よい揺れとともに睡魔に襲われ気が付くと武蔵五日市駅に到着。今シーズン初の雪のある登山。景色は残念だったが気持ちよくゆったり白い世界を楽しめたこと、無事に下山できたことに感謝。

今年も冬山シーズン到来です。無理せず、安全第一で雪山登山を楽しんで下さい。

10時20分 都民の森登山開始

10時50分 鞆口峠着

11時12分 見晴しの小屋着

12時00分 東峰、中央峰を経て西峰着

12時40分 西峰出発

12時55分 大沢山着

13時45分 槇寄山着

14時30分 温泉センター バス停着

文責:松田留美



(槇寄山からの景色)